

保健婦雑誌 第19巻 (1963年) 総目次

VOL. 19. NO. 1

口絵, オキュペーションナル・セラピスト・小林富美栄
読者からの手紙, あたらしい年に希望を!・松村幸子
私たちをささえるもの
インタビュー: 現代の人間像をさぐる一乾孝氏との1時間—
デモクラティックな精神を信条に・中道かつ子
私の仕事をささえてきたもの・小原かつ子
私の歩んだ道・上村聖恵
手記/恵まれない農民に最高の医療を・元木博子
『村ぐるみ』の健康管理の日まで・横山孝子
ある日の訪問
人間保健婦
手紙/3人の保健婦よりS先生へ
私のいきぬき/日曜大工・清水テル
一枚の葉, 一本の小枝の大きな役割
・野崎かね
お茶の会願末記・前谷キミ
心のよりどころをキャンパスに・松野かほる
アンケート
座談会, 共同保健計画と保健婦活動
出席者・金光克巳, 樋上貞夫, 野崎かね, 岩淵ヤイ子
各党の医療政策・水野肇
1962年世界の中の日本・野口肇
オキュペーションナル・セラピスト
—その仕事と教育—・小林富美栄
米国の保健婦事業雑感・中沢幸一
研究・報告, 千葉県における国保保健婦の実態並びに業務調査・野崎かね, 石田正子
めずらしい病気, ヒゲのある婦人・渋沢喜守雄
コンタクトレンズ, 年賀状の感想・長谷川泉

書評・「精神身体医学の理論と実際」
・日野原重明

VOL. 19. NO. 2

口絵, ムードのある保健所・宮城県・塩釜保健所
読者からの手紙, 私は保健婦・奥村怜子
特集・保健婦と研究会活動
研究とはどんなものか・福田邦三
効果的な研究活動のもち方・橋本道夫
保健所長がとらえる研究活動, 現在の研究会に欠けているもの・三沢博人
人づくりの場として・左部勝
研究会活動の現状
保健婦・助産婦・看護婦共同の事例研究・加藤ハマ子
管内保健婦の連携を目的に・菅原由理子
サークル活動, 基礎的な勉強を中心に・平塚孝子
座談会, これからの研究会活動にこう取り組む, 出席者・大竹省吾・山崎淑子・星野孝・松村幸子・中屋敷美保子, 司会・橋本秀子
研究・報告, 塩釜市における共同保健計画・小島武雄
成人病(高血圧・糖尿病患者)訪問票・近藤博
新生児のアフター・ケアと斜頭の問題・中山喜代子・他
講座, 弱視について(2)・秋山晃一郎
めずらしい病気, シビガッチャキ症・成田昌弘
わからせる教育の方法・矢口新
人口革命と高度経済成長下の厚生行政・佐分利輝彦
コンタクトレンズ(38) 正月だけの東京の空・長谷川泉
ルポルタージュ, 私のみてきたムー

ドのある保健所・編集部

VOL. 19. NO. 3

地区民はサービスの向上を求めている, ご協力いただいた方・藤田靖子・高橋洋々・菊地静子・石原八重子
地区の要求にこたえる働き方をめぐって, 何故忙しいのかを検討する保健所の保健婦は何故忙しいのか・西山勇
保健所保健婦の業務をはばむもの・井田直美
業務計画についての婦長の援助・大津秀子
何故保健所の保健婦は忙しいのか・木塚年子
この問題多い職場によせて・手塚ゆき
仕事を通じて問題となること・上原京子
業務にひきまわされる日常・田口宮子
市町村保健婦との付き合いのなかで・宮川キクノ
自らの勉強と人不足の解決と・A生
保健指導を考えなおす
家庭訪問の質の向上・奥村怜子
家庭訪問に何故看護技術がとり入れられないか・渡辺モトエ
健康相談と保健所保健婦・小宮山新一
疾病管理と家族管理・額田要
記録, 現状にあった関連と簡素化・前田ちえ
僻地駐在, 僻地駐在の問題をみつめる・古川モト
僻地駐在の問題点・樋口治子他
作業管理を考える
保健婦業務管理とは・青森県厚生部
保健所保健婦の業務実態とその批判・渡辺清綱

クリニックの効果的な運営
クリニック運営の基礎をどう考えるか・田中恒男
職場づくり——4つの課題
その1. 婦長業務を解剖すれば・橋本秀子
婦長とスタッフの間・松井照夫
婦長のリーダーシップ・沢口進
その2. 東京都における保健婦の再教育訓練の現状のあり方・秋元孝江
その3. 学生指導（現場の立場から）・谷口智子
保健婦学生の保健所実習を省みて・A生
その4. 保健所保健婦と国保保健婦の関係（保健所から）・栗原忠夫（国保から）・五十嵐フミノ
保健所保健婦のあり方
保健所の特性と保健婦業務・橋本正己・児崎宣夫
保健所保健婦は何をしたらよいか・丸山博・橋本周三
読者からの手紙、なぜこんな施策が・戸田政子

VOL. 19. NO. 4

口絵、ビジネスと健康生活展
ニュース、4月1日厚生省看護課発足
焦点、結核患者連絡票をめぐる問題
医師会雑誌掲載の質問によせて・金子光
特集・保健婦の健康
あなた自身の健康を・本間ムツ
労基法で守られているあなたの健康・高崎節子
あなたのかかりやすい病気とその予防・近江明
あなたの健康管理法・山本幹夫
私の健康管理法・重久房子
研究・報告、循環器集団検診の試み・岩本幸子・他
僻地の総合保健計画について・加藤ハマ子・他
解説、昭和38年度厚生行政の方向・

岸野駿太
座談会、今日の開拓保健婦
出席者、大橋美江・前原サチ子・鈴木光江・木原ツエ、司会、崎川サン子
健康と社会<1>保健社会学とは・沢口進
めずらしい病気、湖岸病について・今村隆
“保健所保健婦”特集によせて（私たちからひとこと——学生の声）

VOL. 19. NO. 5

口絵、母親学級の実際
読者からの手紙、腰をすえて“働きやすい職場”に・坂本祥子
特集・母性保健指導のポイント
妊娠中毒症の現状と予防・竹内繁喜
奇形の原因と母体の健康・栗田威彦
妊婦の精神衛生・村松功雄
生活と結びついた母性保健指導・篠崎吉次
私の妊婦保健指導の経験
農村辺地の場合・横井智
団地の場合・内山芳子
母親学級の検討
画一的でない母親学級を・宮川幸子
個別の要求を満すものに・安藤ナツ
アンケートからみた母親教室の反省・内藤智恵子
妊産婦保健指導に思う・三品照子
研究・報告、精神衛生相談これからの保健所活動・瀬戸アヤ
高年令結核患者の精神衛生上の問題・米山隆子・他
保健婦業務の分析および企画について・坂本幸子・他
アンケートによる保健婦の職業観と生活調査・都立保健婦助産婦学院自治会
めずらしい病気、病原性好塩菌・柳沢文徳

健康と社会<2>健康を阻害する社会的条件・柏熊岬二
社会の生活慣行を保健社会学からどうみるか
中央講習会に出席して・大沢静子

VOL. 19. NO. 6

口絵、6,000名、全国から新潟市へ若さがとけあう Day Camp・都立保健婦助産婦学院
読者からの手紙、脱皮・今江寿子
特集・仕事の計画とまとめ
計画どおり仕事はできないか・土屋裕
業務測定を計画に生かす・五味きよみ
事業計画の実例と内容分析
ねらいは地区との結びつき（保健所事例）・大森ミサ
調査活動をもとにした計画（市町村事例）・篠崎繁子
事業所における仕事の計画（事業所事例）・池田泰子
まとめにかえて・田中恒男

座談会、事業計画のポイントをさぐる・出席者 大沢静子・坂本祥子・細井ミエ・塚原弘子・柴田タカ子、司会 松野かほる
解説・家庭に放置されている精神障害者・大谷藤郎
研究・報告、家族計画を中心としたグループ指導と地区組織活動・磯谷芳子
ケース訪問の中でぶつかった壁・宮崎貞江・他
健康と社会<3>健康を規定する社会的条件
健康問題と家族の役割・波多野梗子
めずらしい病気、周期性四肢麻痺・大友英一
随想、保健所実習の思い出・砂金吟子

VOL. 19. NO. 7

グラビア、赤ちゃん相談室

読者からの手紙、ある保健婦同志の
会話から・塚原弘子

特集・乳幼児保健指導

育児指導にみられる問題点・松村
竜雄

管理票をもとにした乳幼児保健指
導・小宮山新一・他

都市における5カ月児保健指導・
沢田喜子

4歳児の実態調査から・八木明

農村地区の乳幼児保健指導・中上慶
子

長野県における保健活動の実態・柳
沢利喜雄

研究・報告、管理票による把握から
みた管内乳幼児衛生(1)・小松俊
円・澄川敏子

クリニックにおける家族計画指導
・石川逸郎・他

宮城県公衆衛生看護学校卒業生の
実態・篠原武夫

母性と労力〔7〕月経の管理・大
島正雄

医学からみた個の尊厳・渋谷喜守雄
＜看護協会総会から＞明日への前進
・仙賀ますみ

話しあう技術をみんなのものに・
林みどり

現実にしたった展望をもって進もう
・重久房子

Medical hi-lite, ロボットナース・稲
生綱政

社会の窓、消費革命とアンデルセン
童話・野口肇

Book Stand, 生態学とその応用

VOL. 19. NO. 8

グラビヤ、夏！ 活躍する移動保健
所、東ドイツのスポーツ教育

読者から編集者へ、まず自分のしあ
わせを見つめることから・今井浩
子

特集・集団検診その問題点と事施例
集団検診一保健活動において持つ

べき役割りと現実の間の矛盾・鈴
木継美

結核における集団検診の実状・小
島武雄

地域社会の総合集団検診・汐田彌
太郎

小平市における集団検診実施上の
問題・染谷暁子

結核検診率を高める方法としての
調査結果・小口ミヨ・他

3歳児検診におけるアンケート調
査および不参加児についての考察
・杉原正造・他

離れ島の衛生問題・野村茂

岩手県の保健婦活動一その歴史と背
景を中心として・相磯富士雄・前
田信雄

研究・報告 管理票による把握から
みた管内乳幼児衛生(2)・小松
俊円・澄川敏子

総合的管理を考えた家族管理カード
の作製・篠原信子

母子家庭の二、三の側面・辻勝流・
磨井レイ子

保健所における保健婦業務の検討・
菊川アヤエ・他

健康と社会＜5＞健康問題と保健婦
活動・田中恒男

＜医師会の動向＞開業医に重視され
てきた公衆衛生活動

Medical hi-lite, 赤痢ワクチン

Book Stand, 人間性解放のレクリエ
ーション活動に・松原五一

社会の窓、新しい世代・古い世代・
野口肇

VOL. 19. NO. 9

グラビヤ、福祉国家デンマーク

ホームナースの活動・子供の施設
・老人の町

読者から編集者へ、かけ出し保健婦
から・松下博子

座談会、新しい条件と新しい働きか
た、出席者 大坂多恵子・上村聖
恵・堀延江・熊本二三江・渡辺和
子・西林雅子・水田はる江・川田
信子

特集・家庭看護

デンマークにおけるホームケア
プログラム・野沢園子

家庭看護のポイント・松下和子
家庭看護の教育・鹿野松

家庭看護教室の実態・宮本久代
講座、先天異常の内因と外因・渡辺
徹一

研究・報告、老人健康調査とまとめ
・上村菊江

聖路加国際病院における公衆衛生
看護部の業務内容分析・松下和子

・紅林みつ子・菅原康子

健康と社会＜6＞保健社会学のため
の調査法・雀部猛利

アメリカの保健婦活動の印象・二木
しずえ

Book Stand, 生活の中の栄養・小池
五郎

Medical hi-lite, 農薬中毒の最近の傾
向・上田喜一

社会の窓、急上昇の物価と生活・野
口肇

VOL. 19. NO. 10

グラビヤ、新しい医学の試み・人
工気象室・山崎博男

読者からの手紙、自己の使命にうち
こめる日を・赤井ミヨ子

特集・高血圧をさぐる

最近の成人病研究と対策・湯浅秀
高血圧とはどういうものか・秋山
房雄

在宅脳卒中患者の看護と保健指導
・小池晶子

高血圧検診の二つの反省・津村大
八

高血圧集団検診に対する受診者の
態度調査・南明範・馬場崎徹

講座、合理的な三食配分法・小池五
郎

研究・報告、未熟児のその後の発育
(体重)推移・鳥谷虎一郎

保健所乳幼児クリニックの約束制
・大山保

俱知安保健所管内老人結核患者の
実態調査・佐々木タダヨ

健康と社会・＜7＞地区診断，地域
社会へのアプローチをめぐる・
宮坂忠夫

保健福祉の諸問題・村山午朔

Medical hi-lite, 医原性ということば
・日野志郎

Book Stand, 文学一作品の読み方
をつかむこと・長谷川泉
社会の窓，おとなとこども・野口肇
Post, へき地の保健婦さんと生活を
ともにして・矢口みなみ

VOL. 19. NO. 11

グラビヤ，第3回全国公衆衛生看護
学会開く・「日本のチベット」に
入った看護学生
読者からの手紙，幅広い研究から活
動のエネルギーを・山下章

特集・ガン対策の現状

ガンとは何か・土屋健三郎

胃ガンの発見は集検でことたりる
か・丸谷正蔵

ガン対策はいかに行なわれている
か・三木行治

私たちはガン集検を進めている・藤

島キン

ガン治療の動向・高橋淳

ガンの魔手をのがれて・編集室

ガンの看護をする中から 内科・安

部ユキノ 耳鼻科・森ノブ

子宮ガンとお産・乳ガンと授乳・助

川幡夫

研究・報告，母子健康センターをど
う運営するか・伊藤雅夫

幼児の体重発育状況の観察・杉野ア
ヤ子他

医療保障講座，社会保障とはなに
か・吉田秀夫

精神障害者のリハビリテーションの
特殊性・小林八郎

Medical hi-lite, サリドマイド奇
形・駿河敬次郎

Book Stand, 公害・神山恵三

VOL. 19. NO. 12

グラビヤ，金町浄水場の機能

読者からの手紙，要は誠意をつくす
こと・伊吹マサ

シンポジウム，地区において保健
婦はどう活動したらよいか，出席

者・合田富美子・小磨幹子・小郷
隆・高見杉江・石尾玲子・伊達富
久・秋元孝江・重信峯太郎・大平
昌彦・北野博一・岩藤保夫

訪問指導の対象をどう選ぶか・田中
恒男

なぜ多病家庭訪問をしたか・西本多
美江

団地の保健婦活動をどうするか・松
浦利次

対ガン運動，現状とゆくえ・水野肇
ガン騒動・河部幸男

講座，保健婦業務を分析する・村江
通之

医療保障講座 2, 国際的な社会保障
の歩み・吉田秀夫

研究・報告，主婦の健康と生活・一
門達子ほか

すべての保健婦は労働者である・中
島紀恵子

Medical hi-lite, 季節病カレンダー
ー・榎山正子

Book Stand, 農民生活・大牟羅良